

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	キラーク・シャーク 2	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：キラーク・シャーク 2

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：キラーク・シャーク

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

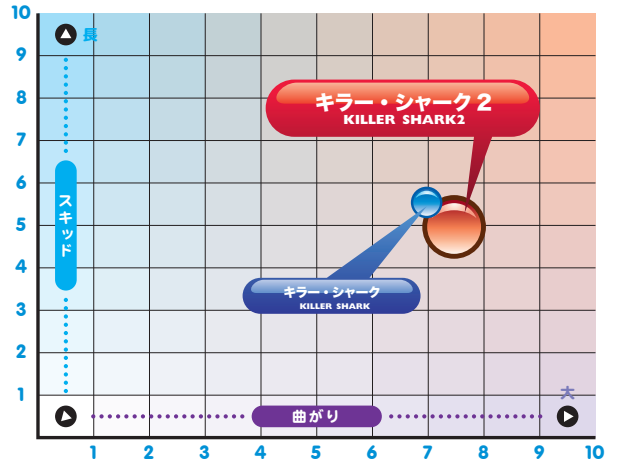
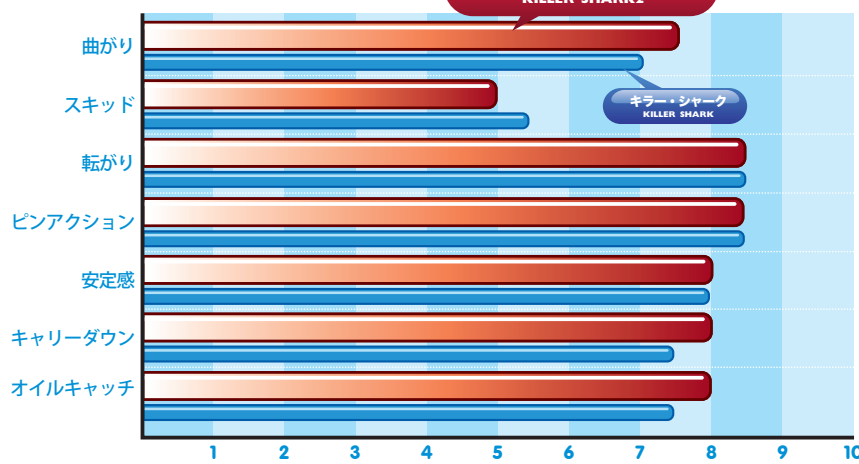
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

US EBONITE工場の生産拠点で、日本独自の開発機関で構成されているNATURAL ENEMIESブランド。前回のKILLER SHARKはMedium領域で抜群の運動性能を持ち、走りときれをだせるボールとして上級者から女性ボウラーまで多くの方に使用して頂きました。それは日本独自の開発機関が可能にする完全監修がなせるものであり、細かい拘りが反映されているブランドでもあると言えると思います。特に前回のKILLER SHARKにも使用されたLCD(Low Crosslink Density/低架橋密度)Coverstockは、μ(マイクロ)単位での結合を広げることで硬度を下げ、摩擦の調整を行える最先端技術を取り入れた製法でもあります。私から言わせると、Medium領域のボールでもHP領域の製法をあえてMedium領域で使用する贅沢な作りとも言えるでしょう。今回のKILLER SHARK 2も前作を上回る性能で皆様にお届けします。今回のKILLER SHARK 2は初代KILLER SHARKよりも全体的な曲り幅を増やしHitting Powerを強める開発コンセプトのもと、LCD Coverstockでも強めの素材を採用しています。しかしBackendの動きとスキッドは非常に密接な関係があり、Midでも動きを安定させようとするとBackendの動きも徐々におとなしくなる傾向になります。その双方を強化させてくれるのがLCD CoverstockとModified SD Coreの神髄とも言えるでしょう。初代KILLER SHARKよりも安定したMid Laneの動きからしっかりとポケットまでの入射角が取れ、攻撃的でありながら安定感も得られる完成度の高いボールに仕上がりました。開発段階から「どのように初代KILLER SHARKと性能の差をつけるか」が焦点になり、ABSボール開発チームは初代KILLER SHARKよりもBackendの動きを損なわずに全体的な曲り幅を増やす選択をしました。Mediumクラスではオイルに対しての強さ、ピンアクションに至るまで高価な素材を使うNATURAL ENEMIESだからこそできるシンプルながらしっかりとしたPerformanceを是非お試しください。

### 特記事項

LCD(Low Crosslink Density/低架橋密度)Coverstockはボールとレーンとの摩擦調整とともにCoverstockの柔軟性を作り出すことでピンアクションの柔らかさまでをサポートする性能を持ち合わせます。